

寒河江市教育委員会会議録

令和2年2月25日 開会

寒河江市教育委員会

令和2年2月25日（火曜日） 寒河江市教育委員会

○ 出席（5名）

教育長 軽部 賢 委員 鈴木 淳一 委員 國井 晴彦
委員 高橋 まり子 委員 鈴木 多鶴子

○ 欠席委員（0名）

○ 事務局職員の職氏名

学校教育課長 大沼 利子 指導推進室長 佐竹 康弘
生涯学習課長 柏倉 信一 スポーツ振興課長 小泉 尚

○ 委員会日程

教育委員会日程

午前10時00分 開議

令和2年2月25日（火曜日）

市役所1階 401会議室

1 開 会

2 議事録承認

3 教育長報告

4 議 事

議第1号 令和元年度教育費補正予算案に対する意見の申出について

議第2号 令和2年度教育費予算案に対する意見の申出について

5 閉 会

会議に付した事件

教育委員会日程と同じ

1 開 会 午前10時00分

○軽部 賢教育長

それでは、ただいまから教育委員会を始めます。

2 議事録の承認

○軽部 賢教育長

はじめに先月開催された前回の教育委員会の会議録承認についてお願いします。

(前回会議録を回覧の上、全出席委員が署名を行った。)

3 教育長報告

○軽部 賢教育長

それでは、つづきまして教育長報告を申し上げます。前回の教育委員会以降の主なものについて申し上げます。

1月29日、村山教育事務所で開催された管内教育長会議に出席しました。各課長等より今年度の取組について報告がありました。また、今後の人事異動に係る依頼等がありました。山形市の教育長が会長ですが、その会長のあいさつの中で教員の大量退職時代に対応した研修の充実について県教育センター評価会議の中で要望したということでした。教育事務所長のあいさつでは5点ほどありました。1点目は探究型学習の周知が進んでいること、2点目は働き方改革に前向きに取り組んでいること、3点目は、後から山形市の小学校で体罰が新聞で出ることとなりましたが、不祥事にかかわる懲戒処分がこの時点では1件もなかったこと、4点目は管理職登用に関わって、具体的にどのように学校経営していくのかという問いに対しては抽象的な答えが多かったのではないかとということ、5点目は管理職登用について校長試験は51名中32名、教頭試験については52名中39名が合格したということでありました。渡辺社会教育課長からは村山管内のコミュニティ・スクールの状況ということで、山形市で2020年からすべての小中学校51校で導入されるということ、寒河江市は5校で予定されている旨、資料に掲載されておりました。河北は検討中、西川、朝日、大石田は実施されている。管理主幹からは今年度の退職者予定数ということで、校長退職は村山管内43名で昨年度よりも多く、教頭が9名ということで昨年度並みということでした。教諭については100名で、昨年は124名でしたので少なくなっているということでもあります。現職交流ということで校長が他管から戻ってくる方が3名、教頭が9名戻ってくるということでした。再任用については昨年より非常に多い60名がフルタイム、短時間も60名、事務職員についても再任用が多いということでありました。

1月30日午前、401会議室にて、学校教育課令和2年度当初予算に係る市長査定に向けてのヒアリングがありました。

1月31日午前中、幸生区の郷野区長と教育長室で学校教育課長と面会し、閉校記念

事業の進捗状況について情報共有を行いました。

午後から、東京外国語大学「インバウンド推進・地域活性化のためのスタディーツアー」事業の一環として、8名の大学生と留学生が陵西中学校の2年生と英語で交流する授業を参観しました。

夕方から、最上川ふるさと総合公園で開催された、やまがた雪フェスティバルのオープニングセレモニーを参観しました。

その後、ホテルサンチェリーで開催された、山田健二先生の県教育功労者表彰受賞祝賀会に出席しました。

2月1日、チェリーナさがえで開催中のSAGAE SPORTS FESTIVALを参観しました。

翌日も、SAGAE SPORTS FESTIVALの参観と、やまがた雪フェスティバルの会場を参観しました。SAGAE SPORTS FESTIVALでは、スタックラインを体験しました。

2月3日午前9時30分から、議会会議室で行われた定例課長会議に出席し、寒河江市自殺予防計画等について協議がなされました。

午前10時30分から、教育長室で、南部小学校長、陵南中学校長、学校教育課長、指導推進室長と、次年度陵南中の病弱学級に在籍する児童について情報の共有と今後の方向性について協議しました。

2月4日午前中、学力向上に係る義務教育課訪問が寒河江中部小学校で行われ、陪席させていただきました。義務教育課の竹田啓課長、半藤指導主事、村山教育事務所の古澤指導主事が来られ、授業通覧の後、県の学力の課題と寒河江中部小の学力の現状と取組について意見交換を行いました。授業を全学級全部を見ていただきましたが、義務教育課長からは大変落ち着いている、特に低学年がすばらしいというお話があって、その要因をその後の懇談の中で質問されて、牧野校長先生が低学年は学力向上と特別支援に課題がある児童がいるのですが、教員の中でケース会議を開きながら指導の方向性を確認しているということや一人一人の児童について情報を共有化している等についてお話をされていました。また今回寒河江市を訪問したのは、今回の学力テストの結果が良かったことで、その要因についても牧野校長先生に質問されておりますが、その中で市教育研究所の取組を中心にして学力向上に対して管理職の意識が変わってきている。かつて学力が低い時があって、そのことに管理職みんなが危機意識を共有することで、それが先生方にも伝わってこういった取組に繋がっているのではないかと牧野校長先生はお話をされておりました。

午後1時30分から文化センターで第2回市いじめ問題対策連絡協議会が開催され、山形県臨床心理学会会長大御均氏の「いじめ発生時の初期対応等について」の講話をお聞きしました。

午後3時30分から文化センターで第2回特別支援教育コーディネーター連絡協議会が開催され、山形大学の三浦光哉教授による個別の支援計画、指導計画の作成についての講義をお聞きしました。

2月5日午前、401会議室にて、生涯学習課・スポーツ振興課の令和2年度当初予算に係る市長査定に臨みました。

午後から村山教育事務所の江川久美子所長と加藤洋一管理主幹による訪問があり、校長人事についての打合せを行いました。

2月6日午後2時からハートフルセンターで開催された市いのちを支える自殺対策庁内会議研修会に参加し、県立保健医療大学大学院教授安保寛明氏による「誰も自殺に追い込まれないまちづくりを目指して」と題する講話をお聞きしました。

2月7日午前、白岩小学校長と面談し、次年度の幸生小と白岩小の交流学習の進捗状況などについて意見交換を行いました。

午後から、山形市役所で開催された山形県市町村教育委員会協議会教育長会総会に出席しました。県教委の菅間裕晃教育長と日高伸哉教育次長より「山形県における教育の現状と課題」の報告があり、給特法の一部を改正する法律、文部科学省の「GIGAスクール構想」、「山形県公立学校における働き方改革プラン(第I期)～公立学校教員の勤務時間の上限に関する方針等～」、「山形県公立学校における働き方改革【概要】」、県立高校の再編整備基準の変更について説明がありました。会議後、教育長だけでなく、各市町村教育委員会の課長や補佐等も対象として、文部科学省からの「学校における働き方改革と改正給特法について」の研修会がありました。

夕方からホテルサンチェリーで開催された市PTA連合会・教育研修会に出席し、「さがえっこライフデザインセミナー」として実施された山形県ウエディング協会会長の武田靖子氏による「親の時代とこんなちがう！子ども達のためのライフデザイン講座」の講演をお聞きしました。引き続き、市PTA連合会・懇親会に出席しました。

2月8日、山形グランドホテルで開催された、慈恩寺調査検討委員会委員長をつとめていただいている山形大学名誉教授伊藤清郎先生の齋藤茂吉文化賞受賞記念祝賀会に出席し、テーブルスピーチを行いました。

2月10日午後1時30分、ハートフルセンターで行われた市校長会議に出席し、「教育長通信」第22号をもとに、寒河江中部小学校への義務教育課訪問、令和2年度当初予算の状況、県市町村教育委員会協議会教育長総会、管内教育長会議等についてお話をしました。

午後4時から、市政調整会議に出席し、市屋内型遊戯施設整備構想、チェリーランド再整備計画について協議しました。

2月11日、市中央公民館で開催された寒河江市公民館大会に来賓として出席しました。セレモニーの後、6つの分館の実践発表と山形大学地域教育文化学部地域教育文化学科教授安藤耕巳氏の「地域社会と学校との連携のこれから」と題する講演をお聞きしました。安藤先生からは、次年度から導入するコミュニティ・スクールについてもお話していただきました。

2月12日、村山教育事務所の江川久美子所長と加藤洋一管理主幹による訪問があ

り、教頭人事についての打合せを行いました。

2月13日午前10時30分から陵東中学校を会場に行われた、陵東中・高松小・柴橋小校長によるコミュニティ・スクールについての情報交換会に参加させていただきました。学校運営協議会委員、コーディネーターの人选などが話題となっていました。

午後から村山教育事務所で開催された第68回西村山地区学校保健大会に出席しました。表彰事業では、学校保健功労者として柴橋小学校の学校医折居和夫氏、西村山地区学校保健功労者として陵西中学校の鈴木弘美氏が表彰されました。その後、西村山広域行政事務組合消防主査の飯野幸広氏による「食物アレルギーやアナフィラキシーの際の学校の対応と救急隊の対応について」の話題提供と山形済生病院健康増進センターめぐみの健康運動指導士伊藤貢氏による「姿勢の観点から考える健康づくり～コンディショニングで元気で豊かな人生に～」と題する講演がありました。

2月14日午前、さがえっこ育み推進事業本部の今後のあり方について、課長、室長、指導主事と協議をし、コミュニティ・スクールの取組みと効果的に連動できる体制にしていくことを確認しました。

午後からは議会会議室にて第2回総合教育会議を開催し、学校のあり方とコミュニティ・スクールについて、市長と教育委員で意見交換をしました。

2月15日、ハートフルセンターで一般社団法人寒河江市体育協会表彰式が開催され、功労賞、栄光賞、奨励賞に個人51名、5団体が表彰されました。

その後開催されたスポーツ講演会では、ソウルオリンピック競泳競技に出場した、現山形県水泳連盟理事長の武田聡氏が講師として来られ、「東京2020オリンピック・パラリンピックの展望 山形から世界にはばたけ!」と題する講演をお聞きしました。

2月17日午前、市政調整会議が開催され、総務課危機管理室を危機管理課に組織替えにすることについて協議を行いました。

午後から村山総合支庁本庁舎で開催された依存症支援者研修会に参加し、NPO法人ワンダーポケット理事長で小児科医師の田澤雄作氏による「思春期、青年期におけるゲーム、ネット依存を知る～予防と対応について～」と題する講演をお聞きしました。約100名の教育、医療、行政関係者が参加し、関心の高さを感じました。

2月18日午前、山形銀行の社会貢献応援型特定社債保証制度「やまぎん夢みらい応援私募債」を活用して、人材派遣業のアビリティ様より市内3中学校に、20万円相当の学校用品を寄付していただくことになり、目録贈呈式を教育長室で行いました。

午後から教職員評価に係る校長面談が始まり、この日は教育長室で幸生小、白岩小、寒河江中部小の各校長に対して佐竹室長と一緒にを行いました。

2月19日午前、市文化センターで、寒河江市美術館運営委員会が行われ、市民に親しまれる美術館のあり方について協議を行いました。

午後から、寒河江小学校で6年生を対象に実施されたライフデザインセミナーを参観しました。小関一彦氏、松田正勝氏、海野学氏による講話で、子ども達はメモを取りな

がら熱心に聞いていました。

2月20日午前、議会会議室で全員協議会及び内示会が開催され、行動計画の見直しと令和2年度当初予算内示について市長と関係課長より説明がなされました。

午後から、教職員評価校長面談を、教育長室で高松小、寒河江小、南部小、柴橋小校長に対して佐竹室長と一緒にを行いました。

2月21日午前、歴史文化センターを実現する会、代表山本洋一氏と面会し、市長あての要望書「寒河江市立資料館の設置について」を受理し、懇談をしました。

午後から教職員評価校長面談を教育長室で、醍醐小、三泉小、西根小、陵東中、陵西中、陵南中学校長に対して佐竹室長と一緒にを行いました。

2月23日、チェリーランドのさくらんぼ会館で開催中の「寒河江市内小中学校図画習字作品展」、引き続き、寒河江市美術館で開催中の「アートツリーやまがた」を参観しました。

教育長報告については以上になります。ご質問等あればお願いいたします。

4 議事

○軽部 賢教育長

なければ、これより議事に入ります。

まず最初に、議第1号「令和元年度教育費補正予算案に対する意見の申出について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

○大沼利子学校教育課長

議第1号令和元年度教育費補正予算案に対する意見の申出について、ご説明申しあげます。

これは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、3月の定例議会に提出予定の令和元年度教育費補正予算案について市長から意見を求められたことに伴うものです。

今回は学校教育課のみとなりますので、学校教育課分についてご説明いたします。

議案2ページをご覧ください。

はじめに繰越明許費についてですが、この度の補正予算は、小中学校の高速大容量のネットワーク環境の整備に係る費用について新たに計上するものです。この事業は国の今年度の補正予算における公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金の交付を受け実施いたします。事業の実施は、令和2年度中になりますが、本市においても今年度の事業として予算を計上する必要があることから、補正を行うものです。

また、事業の実施は、令和2年度中であることから、地方自治法213条の規定により、繰越明許費として事業費全額の1億2,732万1千円を令和2年に繰越して使用するものです。

1の歳入についてご説明いたします。

13款国庫支出金 2項国庫補助金 5目教育費国庫補助金ですが、公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備補助金、6,366万円を追加するものです。これは歳出で補正する小中学校の高速大容量のネットワーク環境の整備に係る事業費の約2分の1が国庫補助金として交付されるものです。

20款市債 1項市債 7目教育債も同様に、ネットワーク環境の整備に係る事業のため、6,310万円を追加するものです。小学校に係る事業費分として4,380万円、中学校分1,930万円をそれぞれ起債するものです。

次に歳出です。3ページをご覧ください。

10款教育費、1項教育総務費、3目教育指導援助費についてご説明いたします。

補正前の額が、9,987万7千円、今回の補正額が1億2,732万1千円で、補正後の合計額は2億2,719万8千円となるものです。

これは、幸生小を除く市内12の小中学校の高速大容量のネットワーク環境の整備を実施するための実施設計委託料と工事請負費です。

補正予算についての説明は以上ですが、よろしくご説明いたします。

○軽部 賢教育長

ただいまの説明について、質疑、意見等はありませんか。

先ほど県の教育長と教育次長から市町村教育委員会協議会教育長総会の中でGIGAスクール構想について、補正予算で対応しているとのことですが、国では2,300億円を計上しており、この機を逃さずよろしくお願ひしたいということでございましたので、このことへの対応ということでございます。

○鈴木淳一委員

大変思い切った事業であり、すばらしいなと思います。内容としては教室の中だけにつながるネットワークなのでしょうか。

○大沼利子学校教育課長

体育館等にもつながります。例えば災害時などの時、体育館が避難所になったときなどもWi-Fiが繋がるといったメリットも出てきます。

○国井晴彦委員

いわゆるWi-Fi環境を整備するための事業ということなのですね。

○大沼利子学校教育課長

現在もWi-Fi環境は整備されているのですが、現在各校には1クラス分のタブレッ

トしか整備されてございませんので、今の環境でも十分通信はできますが、今後タブレットの台数が増えた場合、円滑な通信に対応できなくなりますので、今後こうした大容量に対応できるよう整備するものです。

○軽部 賢教育長

次の段階としてG I G Aスクール構想の中で示されているのは、3年間の中でタブレットを1人1台ということですので、そのような状況になったときには大容量のW i - F iでないと対応できないであろうということであり、前の段階として、市としてはこのような整備をしていくというものです。次の段階についてはまだ検討中ということなのです。

○大沼利子学校教育課長

そうです。この工事自体も、そんなに簡単にできるものではなく、恐らく1年みっちりかかると見込んでおりますので、再来年度の予算等について、順次タブレットの配備等を進めていけるようにしたいと考えております。

○軽部 賢教育長

国ではこの事業の財源としてこれまで地方交付税措置をしているけれど、なかなか進まないということで、それを超える部分について国で補助するということのようにです。ただ1台につき4万5千円までということです。国ではとにかく進めてほしいということのようにです。

将来的には全国学テも2023年あたりからタブレットで行うと文科大臣が言っておりますので、ゆくゆくはこういった体制にしていく必要があるのではないかと県の教育長や次長がおっしゃっていました。

○鈴木淳一委員

この取組は寒河江市は早いほうなのですか。

○大沼利子学校教育課長

国のこのような財政措置は昨年暮れあたりに出てきた話で、1月になってから今年度であるか来年度であるかという通知が来ており、今年度で実施するほうが有利である旨の通知が1月の下旬に来て、そこで各市町村の意向調査があり、ほとんどの市町村で手を挙げているようなのですが、今後のパソコン等の整備にも相当な財源が必要になるので、その部分については実施できないという市町村は考え直しているところもあるのではないかと思います。

○軽部 賢教育長

新聞に出ておりましたが、山形市の令和2年度当初予算では4000台のPC導入について盛り込まれているようです。

寒河江市の場合は、今年度の当初予算では小学校に1クラス分のタブレットを導入しております。

○大沼利子学校教育課長

今年度の当初予算では小学校各1クラス分のタブレットを導入しております。来年度におきましては、中学校に1クラス分のタブレット導入を予定しております。来年度に1人1台のタブレットを導入したとしても、現在の通信環境の下では円滑に使用することはできません。今回の工事が終わってから、学校側と順次導入する学年を調整しながら、何年度かにわたり、タブレットの整備を進めていく予定で考えております。

○軽部 賢教育長

補助がずっと続くわけではありませんので、リースとなった場合、次のリース更新期にはどうするのかとか、4万5千円で買えるPCとはどういったものがあるのか等の話になりますので、そこは学校とも協議しながら検討していきたいと思っております。各市町村ともこれらの問題について頭を悩ませているところであり、今後、それぞれ対応がいろいろ出てくるのではないかと考えています

ほかにございませぬか。なければ、採決したいと思っております。

議第1号「令和元年度教育費補正予算案に対する意見の申出について」を原案のとおり決定することにご異議はありませぬか。

(一同、異議がない旨の返答)

議第1号は、原案のとおり決定いたしました。

続きまして、議第2号「令和2年度教育費予算案に対する意見の申出について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

○大沼利子学校教育課長

議第2号令和2年度教育費予算案に対する意見の申出について、ご説明申しあげます。4ページをお開きください。

これは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、3月の定例議会に提出予定の令和2年度教育費予算案について、市長より意見を求められたことによるものです。

議案の教育費予算案で示させていただいておりますが、かなりの分量がございますので、別紙の令和2年度主要事業の概要(案)で事業ごとに事業内容や予算内訳をまとめておりますので、こちらで説明させていただきます。

時間の関係上、主なもののみご説明申しあげますのでよろしくお願いいたします。

資料、令和2年度主要事業の概要の1ページをご覧ください。

教育委員会事務局管理事業ですが、経常経費の外に令和3年度末で閉校となる幸生小学校の閉校記念事業を実施するための補助金として200万円を計上するものです。

学力向上支援員派遣事業の4,056万3千円ですが、これは児童生徒の確かな学力向上をめざし、学習指導や学習支援を行う支援員の充実、通級学級における特別に支援が必要な児童生徒をサポートする特別支援教育補助員を配置するものであります。特別教育補助員については、来年度、陵南中と三泉小へ各1名増員し、今年度6名から8名とするものです。

続きまして2ページをご覧ください。

英語力育成事業についてですが、ALT（外国語指導助手）3名及AET（日本人英語講師）3名による、児童生徒の生きた英語学習や国際理解教育の充実を図るものです。また、新たに、英語の「聞く、話す、読む、書く」の4技能をスコア型で評価測定する、スコア型試験（GTEC）を中学2年生対象に実施いたします。

小中学校芸術活動支援事業についてです。毎年、小中学校において演劇、音楽、芸能のいずれかの芸術鑑賞を実施しておりますが、来年度は臥龍ライオンズクラブ30周年を迎えることから、山形交響楽団の公演料の1/2に相当する額のご寄付の申し出があり、臥龍ライオンズクラブとの共催事業として山形交響楽団公演を開催いたします。山形交響楽団の公演料は、通常ですと市と保護者が1/2を負担しておりますが、臥龍ライオンズクラブからの寄付金についてはこの保護者負担分に充当し、保護者負担の軽減を図ります。

外国人子女等対策事業は、基本的な日常会話能力が不足している外国人子女等が在籍する学校に対して、母国語を話せる支援者を派遣するものです。来年度はフィリピンからの児童生徒が寒河江小学校に2名、陵東中学校に4名が在席することから1名増員し、2名体制で支援してまいります。

さがえっこ育み推進事業は、教員の働き方改革を推進するため、中学校3校に部活動指導員3名を配置いたします。また、南部、西根、柴橋、高松の4小学校と陵東中学校の5校において、開かれた学校づくりを推進し、地域とともに学校づくりを進めるためコミュニティ・スクールを先行実施いたします。そのため、各校に地域コーディネーターを各1名配置するとともに、学校運営協議会を設置いたします。

4ページをご覧ください。

小学校管理事業ですが、学校の維持管理、施設整備に係る経費であります。

主な事業といたしましては、南部小、高松小、醍醐小について、特別教室等の空調設備整備を実施いたします。南部、高松の暖房設備が電気を使用しておりますが、暖房効率が悪く、運転コストもかさんでいる状況にあります。このため他校より先行して整備をし、暖房もエアコンを使用することにより電気料の削減を図ります。また、醍醐小は、建築当

初に設置されたエアコンが耐用年数を大きく経過し、修理不可能な状況であることから、交換を行うものです。

学校給食事業ですが、今年4月から新たに寒河江中部小と南部小におきましても、民間企業による給食調理業務を開始いたします。これで、市内10小学校のうち5校で民間委託されることとなります。今年1月に入札を行い、受託業者は株式会社メフォスに決定し、現在準備を進めているところです。

給食費についてですが、消費税の引き上げ等により、食材の仕入価格が上昇し、今までの通りの十分な内容の給食を提供するのが困難となったため、1食当たりの単価を20円引上げ300円といたします。この引き上げ分については、全額市が負担をし、保護者負担は据え置きといたします。市負担の増額は約830万円と見込んでおります。

教育振興費ですが、来年度より新たにすべての小中学校において、デジタル教材を導入いたします。これは音声や動画を活用することにより、学習効果を高め、学びやすい学習環境づくりを進めてまいります。

5ページをご覧ください。

中学校管理事業についてです。学校の維持管理、施設整備に係る経費であります。施設整備については、3つの中学校のトイレ大規模改修と、特別教室等空調設備整備を実施いたします。空調設備については、暖房用ボイラーの更新が必要な陵東中の特別教室への設置と、3校の保健室のエアコンを交換いたします。このほかにも、陵南中学校の下足箱改修、陵東中学校の砂場改修等を行い、学習環境の向上に努めてまいります。

学校給食事業ですが、小学校等同様1食あたり20円値上げをし、330円といたします。この分についても全額市が負担するとともに、第3子については全額無料とし、保護者負担を軽減し、子育て支援の拡充を図ります。

教育振興事業ですが、小学校と同様にデジタル教材の導入を開始いたします。

6ページをご覧ください。

ICT整備推進事業です。今年度は小学校にタブレットPCを整備しましたが、来年度は各中学校に1学級分を整備いたします。

概略の説明でありましたが後ほど質問があれば詳細についてお答えしたいと思います。以上、学校教育課分を終わります。

○柏倉信一生涯学習課長

続きまして、生涯学習課分についてご説明申し上げます。資料をご覧ください。

1ページの事業名で上から4番目、公民館整備事業2、751万7千円は、地区公民館分館整備に対する補助金であります。

公民館整備事業費補助金は1、251万7千円であります。新たに、補助対象を座椅子の設置、畳替えを追加し、エアコン設置工事の補助率は最低でも1/2以上になるように制度改正を予定しております。

コミュニティ助成事業費補助金は1,500万円であります。楯公民館の新築に係る補助を予定しております。

1つとびまして、文化センター整備事業808万5千円は、文化センター防火設備改修工事等であります。

次のページをご覧ください。

芸術文化振興事業1,660万7千円は、自主事業としまして、引き続き4つのイベント、慈恩寺コンサート、幼児演劇教室、文化公演、若者向けコンサートの寒河江ミュージックデーの開催を予定しております。

次の、美術館運営事業686万円は、昨年に引き続き、本市出身の海外でも高い評価を受けている写真家、鬼海弘雄さんの新たな写真展を4月末から約2ヶ月間開催する予定であります。

中ほどの、寒河江さくらんぼ大学推進事業270万2千円は、6学部、歴史に関する1大学院を設け、開講式では著名な方の講座を予定しております。

下から2つ目の読書普及事業292万8千円は、さくらんぼの都市(まち)全国俳句大会を第50回記念大会として実施する予定です。読書講演会は、昨年好評だった俳優の室井滋さんをお呼びして、トークショー等を開催する予定です。

次のページをご覧ください。3番目の市史編纂事業1,144万1千円は、市史資料編「慈恩寺最上院日記」等の発刊を予定しています。

次の、文化財保護庶務事業322万2千円は、本市の文化財の保存・活用に関する総合的な保存活用地域計画を策定するために係るもの等であります。

次の、指定文化財等補助事業270万円は、指定文化財の修理事業補助金等であります。

次の埋蔵文化財調査事業495万4千円は、慈恩寺旧境内国史跡の追加指定に向けた、上の寺遺跡の航空レーザー測量委託に係るもの等でございます。

以上、よろしく申し上げます。

○小泉 尚スポーツ振興課長

スポーツ振興課分についてご説明申し上げます。

保健体育総務事業507万3千円につきましては、スポーツ推進員の配置など総務一般にかかわる経費とスポーツ関係団体等の各種負担金になります。新たなものとしましては今年、本市で開催される東北総合体育大会剣道競技の負担金8万円等になります。

続きまして、生涯スポーツ振興事業860万2千円につきましては嘱託職員のスポーツ指導員の報酬や生涯スポーツに関わる委託料、各種スポーツ大会開催にかかる負担金が主なものでございます。スポーツ指導員につきましては1名増員しまして2名分を計上しております。

続いて、社会体育施設管理運営事業6,107万3千円につきましては指定管理者制度を活用しまして、市民体育館や多目的運動場チェリーナさがえ等の社会体育施設の管理

運営を委託するための経費であります。例年通りとなっております。

続きまして、体育施設整備事業2, 250万円ですが、スポーツ環境の整備と充実を図るための経費であります。老朽化した市民体育館のボイラー改修工事2, 200万円が今回の主なものとなっております。

最後に地域スポーツ活性化推進事業3, 951万8千円ですが、今年開催される東京オリンピック・パラリンピック聖火リレーに関わる経費や関連イベントの負担金、またスポーツツーリズムの推進により交流人口を拡大し、地域の活性化を図るために開催する、例えばさくらんぼマラソン大会やトライアスロン大会などの開催負担金のほか、これらのスポーツツーリズム事業を効果的に行うために配置しております地域おこし協力隊1名の経費などが主なものとなります。以上でございます。よろしく申し上げます

○軽部 賢教育長

ただいまの説明について、質疑、意見等はありませんか。

○鈴木淳一委員

学校教育課関連についてお尋ねいたします。

先ほどの英語力育成事業の中で、中学校2年生を対象にGTECを取り入れるということでしたが、これは何月ぐらいに開催する予定なのでしょうか。

○佐竹康弘指導推進室長

10月ごろの開催を予定しておりますが、学校とも日程調整させていただきたいと思っております。

○鈴木淳一委員

これは一斉に行うものなのでしょうか。

○佐竹康弘指導推進室長

同じ日、同じ時刻にということでしょうか。

使用する機器の問題もございますので、10月ごろに各学校と日程調整をしながら、それぞれの学校ごとの日程で考えております。

○軽部 賢教育長

話す力についても機械などを使って行うのですか。

○佐竹康弘指導推進室長

タブレット等の機器を実施業者が準備をして行います。全国学力テストと同じように

話す力も見ることができるといえるものであります。

○軽部 賢教育長

大学入試などでも話題になりました民間の英語テストの一つです。

○鈴木淳一委員

来年度だけでなく、ぜひ継続していただけるようにしていただければと思います。

もう1点ですが、臥龍ライオンズクラブさんの寄付の件ですが、これは毎回いただけるものなのでしょうか。

○大沼利子学校教育課長

今回、臥龍ライオンズクラブさんの創立30周年記念ということで半分補助をするので山形交響楽団の支援という意味も含めて公演をしていただけないかというお申し出をいただきまして実施をすることとなりました。来年度は本来は演劇教室の予定で、再来年度が山形交響楽団の公演だったのですが、調整をいたしまして来年度に山形交響楽団の公演を実施いたします。

○軽部 賢教育長

そのほかございませんか。なければ、採決したいと思います。

議第2号「令和2年度教育費予算案に対する意見の申出について」を原案のとおり決定することにご異議はありませんか。

(一同、異議がない旨の返答)

議第2号は、原案のとおり決定いたしました。

今回出されている議案については以上になりますが、委員の皆さんの方から何かございませんか。

なければ以上をもちまして、教育委員会を閉会したいと思います。ありがとうございました。

4 閉 会 午前10時57分